

第1回まつど市民活動サポートセンター運営委員会

発行日：2006年4月21日

(作成者)三澤和弘

第1回まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時：平成18年4月21(金)15:00~17:00

場所：女性センター 3階研修室

出席者：(委員)楠本・金子・半田・三澤・小菅 (コーディネーター)桑田(事務局)岩崎、津久井

傍聴者：なし

会議の流れ

議事進行：金子 板書：桑田

議事記録：三澤

委嘱状交付式

会長・副会長の選出

会長挨拶

議題1：18年度運営方針について

議題2：報告事項

議題3：その他

確認された事項

1. 18年度運営委員会の新会長は金子委員。副会長は楠本委員
2. 運営委員会は従前どおり月1回の開催とする。(原則として第2水曜日)
3. 専門部会は民営化特別部会、企画部会、広報交流部会の3部会とする。
4. 企画部会長は半田委員。広報交流部会長は三澤委員
5. NPO・市民活動見本市の担当は楠本委員

次回の議題

議題1：民営化特別部会の運営方針について

議題2：市民フォーラムの実施について

連絡事項

次回、平成18年度第2回の運営委員会

- ・5月10日(水)午後3時からサポートセンター第1会議室(予定)
- ・議事進行：三澤
- ・議事記録：小菅

議事の概要

委嘱状交付式

- ・岩崎市民担当部長より18年度運営委員の委嘱状を交付する。

会長・副会長の選出

- ・前年度までの会長である岩橋委員の退任のため、18年度の新会長、新副会長を選出する。
- ・18年度の会長は、前年度まで副会長であった金子委員を会長とすることを決定する。
- ・それにもない、副会長を楠本委員とすることを決定する。

会長挨拶

- ・金子委員の会長就任挨拶

議題1：18年度運営方針について

- ・運営委員会は原則、月1回の開催とし、月の第2週水曜日とする。
- ・場所はサポートセンター。会議時間は15時から17時を原則とする。
- ・専門部会は従来の機能を存続させる。
- ・運営委員会における進行、議事録の係りは議事録担当した者が次の委員会での進行役とする
進行：金子 三澤 小菅 楠本 半田
議事録：三澤 小菅 楠本 半田 金子
- ・民営化特別部会は運営委員全員の参加とする。その部会の運営については、指定管理者制度の進行及び運営委員の役割等を検討して、小菅委員より次回運営委員会で諮る。
- ・企画部会はそのまま存続。メンバーは半田委員を部会長として金子、小菅委員とする。
- ・広報部会と交流部会は合同する。メンバーは三澤委員を部会長として楠本、小菅委員とする。
- ・専門部会は、それぞれの部会にて運営方針を決定する。
- ・なお、NPO・市民活動見本市の運営委員会からの担当は、楠本委員に決定する。

議題2：報告事項(桑田)

- ・18年度協働提案事業募集 選考審査会を5月13日から6月11日に変更
- ・第3回NPO・市民活動見本市の結果報告
- ・Let's体験2006企画説明
- ・4月14日発行のサポセン・ニュース案内

議題3：その他

➤市民フォーラムについて

- ・市民フォーラムの実施について検討したい。
- ・市民フォーラムについて、指定管理者制度の日程も含め予算、事業計画等のボランティア担当室の方針などを明確にし、次回運営委員会に諮る。

➤委嘱期間について

- ・運営委員の委嘱期間が2年間になっているが、18年度運営委員会の方針として、年度内に指定管理者制度の導入を目指している。年度内導入時期(1年間)を目途として運営委員会は解散する。

第2回まつど市民活動サポートセンター運営委員会

発行日：2006年5月26日

(作成者)小菅恒夫

第2回まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時：平成18年5月10日(水)15:00~17:00

場所：まつど市民活動サポートセンター 第1会議室

出席者：(委員)金子・楠本・半田・三澤・小菅 (コーディネーター)小山(事務局)岩崎、津久井

傍聴者：1名

会議の流れ

議事進行：三澤 板書：小山

議事記録：小菅

議題1：18年度事業計画

議題2：民営化特別部会の運営方針

議題3：市民フォーラムの実施

議題4：その他

確認された事項

1. 事業計画は、基本構想の反映や改善点を明示する形で作成する。
2. 民営化特別部会は、指定管理者導入経過について報告を受け、意見交換をする。
3. 企画部会は、サポート資源提供システムについてフォーラムを開催して検討するための企画を練る。
4. 広報について運営委員会として意見があれば楠本委員が取りまとめてサポセンに伝える。

連絡事項

次回、平成18年度第3回の運営委員会

- ・ 6月14日(水)午後3時から
サポートセンター第1会議室(予定)
- ・ 議事進行：小菅
- ・ 議事記録：楠本

議事の概要

議題1：まつど市民活動サポートセンター事業計画

- ・ 資料「平成18年度まつど市民活動サポートセンター事業計画」「事業スケジュール」を事務局より説明した。
- ・ 事業計画には、前年度に比べてどのように見直し、変化したのか明示すべきである。企画の内容が見える事業計画にすべきである。
- ・ 基本構想を提言したので、それがどのように反映されたのか示してほしい。特に、コーディネーターの養成についてはどうか。
- ・ コーディネーターは5人から6人体制になったが、通常勤務は3人のまま変更はない。研修については例年どおり実施していく。
- ・ 運営委員会事業は、サポート資源管理や情報発信に関して今後検討していく。

議題2：民営化特別部会の運営方針について

- ・ 資料「指定管理者制度導入スケジュール」を事務局より説明した。
- ・ 募集要項、選考基準等は市の最終判断の段階で運営委員会が直接的に関わることは難しい。その途中の報告をすることは可能である。
- ・ 運営委員会から意見をもらっても協議の次元ではない。既にボランティア担当室の手を離れて作成、決定される段階である。
- ・ サポセン独自の募集要項、審査基準について意見を出すことはできないか。
- ・ それは3月までの段階で、3月に出された提言を検討し、最終案を作る。
- ・ 民営化特別部会では公表できる資料をもとに意見交換をする。
- ・ サポセンの指定管理者は一般の施設とはソフト機能が違うので、それなりの機能を持つNPO等の受託の可能性を考えて、きちんと見届けていくのが運営委員会の役割である。
- ・ 民営化特別部会開催日程 5月22日(月)15:00~

議題3：市民フォーラムの実施について

- ・ 半田委員より「サポート資源提供システムのあり方」についてフォーラムの形で検討することの提案を説明した。
- ・ このシステムをサポセンが運営するための検討なのか。
- ・ 最初の部分はサポセンが担う事業ではないかという背景を持ちつつ、多方面からシステムのあり方を検討していく。
- ・ どこが実効性があるのか、どんな仕掛けが必要なのか、広くフォーラムの開催で検討していく。
- ・ パートナシップ条例との関わりも考えた方が良いのではないか。
- ・ この件は、企画部会で企画案を検討し、運営委員会に提示する。
企画部会開催日程 6月8日(木)15:00~

議題4：その他

- ・ 三澤委員より広報交流部会の開催結果について報告した。
- ・ ニュースレターとホームページについて、運営委員会として意見があれば、それを取りまとめてサポセンに伝える。広報関係担当 楠本委員
- ・ 利用者懇談会は、9月を目処に開催する。担当：三澤委員
- ・ 新規事業として大学生への情報発信として、大学生の編集による情報誌を作成する。サポセンを若い世代の情報交換の場にしていく。担当：小菅
- ・ ホームページアップの最終的な担当者をボランティア担当室に置く。
- ・ 運営委員会のホームページ上のつづやきは継続する。

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信

発行日：2006年6月12日

(作成者) 楠本敏子(運営委員)

平成18年度 第3回 まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時：平成18年6月14日(水) 15:00~17:00

場所：まつど市民活動サポートセンター 第2会議室

出席者：(運営委員) 金子・半田・三沢・小菅・楠本 (コーディネーター) 西川 (事務局) 岩崎・津久井

傍聴者：1名

会議の流れ

議事進行：小菅

議事記録：楠本

板書：津久井

議題1：サポートセンター協働提案事業について

1. 平成18年度提案事業及び選考審査結果について
2. 平成17年度事業評価について

議題2：企画部会提案

『サポート資源提供システム』の構築に向けて

議題3：広報交流部会提案

1. 矢切地区社協「ふれあい広場」の参加依頼について
2. 学生向け情報誌作成事業について
：その他

資料

市民活動サポートセンター協働提案事業完了報告書

平成17年度 サポートセンター協働提案事業 事業評価報告

市民活動サポートセンター協働提案事業提案書

『サポート資源提供システム』の構築に向けて
学生向け情報誌作成事業企画書

議事の概要

議題1：サポートセンター協働提案事業について(小菅)

1. 平成18年度提案事業及び選考審査結果

- 資料 により説明。
- 「生ごみは宝」連続講座 条件付採択。ア市民主体とし、積極的に取り組む人材を育成し組織化する(講座の出口。サポセンとの協働でワークショップの手法を取り入れる)イ他のNPOと連携し市民だから取り組める事業にするウ企業を取り込み事業化の可能性を探る。
- 「パソコン無料相談会」 継続 条件付採択(昨年度よりも発展的な事業の組み立てが必要。コミュニティービジネスとして事業化の可能性を考える)ア初心者向けの無料相談会を対象者のレベル別に作り変えるイ活動を地域に広げる工夫をするウ団体に参加するボランティアを呼び込む仕掛けを考える。
- 「高齢者うんどう習慣化教室」 継続 条件付採択。ア参加者を増やす(サポセンとの協働体制を確認する。広報の方法を工夫。ネーミングの工夫)イコスト意識を持つウ他の市民団体との具体的な連携を考えるエ市内の高齢者対象運動教室などの実態を調査し市に対し具体的な提案をする。
- 子育てサロン「みんなといっしょ」 条件付採択。ア会費の有料制も含め事業としての視点を持つ必要があるイ母親のニーズに合わせ提供するプログラムを作りメニューを増やすウ他の見守りの活動との連携エ子育てに関心のあるシニアや男性ボランティアを取り込む仕掛けを作る。
- 「地域サポーター講座」 継続事業者 条件付採択。アニーズを調査する。対象を明確にイ参加しやすく工夫する(わかりやすいプログラムの組み立てに。何が身につくのか分かるネーミングに。金額の設定を見直す)

2. 平成17年度事業評価

- 資料 により説明。
- 「パソコン無料相談会」参加者は60代が最多、次いで50代。
- 「高齢者うんどう習慣化教室」は、市が行っている同様の事業との絡みを如何にするかが課題。
評価と審査が同時。継続事業の場合これでは評価が審査に反映されない。
評価はどのようにアウトプットされるのか HPにて公開される
昨年の3事業から今年は5事業。コーディネーターは対応できるのか 能力の範囲で対応する。協働事業提案者の自立を期待する。市の協働事業のパイロット事業であることを理解して欲しい。

議題2：企画部会提案(半田)

- 資料 (『サポート資源提供システム』の構築に向けて)により説明。
- 関連性のあるものを同時開催(10、11月頃か)
- 市民フォーラムを行う。サポセンが主体になり企業、団体に対して呼びかけ、準備会を立ち上げる。
サポートセンターのマスターか システムの在り方の検討はサポートセンターの役割と考える。

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信

発行日：2006年6月12日

(作成者) 楠本敏子(運営委員)

確認されたこと

議題1: サポートセンター協働提案事業に付き、平成18年度提案事業及び選考審査結果の報告と平成17年度事業評価の報告があった。評価を生かせる審査会のあり方が検討課題。

議題2: 企画部会から『サポート資源提供システム』の構築を提案。運営委員会が準備会立ち上げの呼び水となる。企画部会で詰めていく。

議題3: 広報交流部会から矢切地区社協「ふれあい広場」への参加を提案。併せて市民フォーラムを開催する。学生向け情報誌作成事業はレッツ体験事業に位置付けて企画、実施する。

議題4: 見本市準備委員会担当から見本市を支える恒久的組織立ち上げ画策に付き報告。

以上

今後の予定

次回運営委員会

7月10日(月) 15:00から開催

場所

サポートセンター第2会議室

担当

進行 楠本

議事メモ 半田

議事の概要

- まずは市民フォーラムの準備会として夢を語り合う場作りから始める。
- 運営委員会が準備会を立ち上げる為の呼び水となる。
- 今後、企画部会で詰めていく。

議題3：広報交流部会提案

1. 矢切地区社協「ふれあい広場」の参加依頼について(三澤)

- 社協から依頼があった。時期的に10月ごろであり先の市民フォーラムを併せて開催してはどうか その方向で。

2. 学生向け情報誌作成事業について(小菅)

- 資料 により説明。
- 若い世代をサポートセンターに取り込み交流を図る。
- 継続事業としたい。まずは年1回の発行。
- 学生が参加する仕組みを作りたい。

レッツ体験の発展版にしたほうがよいのでは レッツ体験だけに拘る必要はない。レッツ体験とスケジュールやターゲットがダブっている。一緒にしても問題ない レッツ体験の一部とは違う。延長としてはやりたくない。

次世代育成事業が情報発信事業か 次世代育成の為の情報発信事業だ。

ランドデザインに合わせた事業をすべき。それがない新事業をやるのはおかしい。

レッツ体験は次世代育成の核になっている。これを発展させるべき レッツ体験だけでなく見本市にも関わってくる。単独の情報発信事業として色々なものに関わってくる。

レッツ体験報告書作成にかなりの労力、時間が掛かっている。そこを学生に担ってもらえばコーディネーターの負担が減る。

結論として、学生向け情報誌作成事業を次世代育成事業のレッツ体験に位置付けることを決定事項としてコーディネーターに説明する。

議題4：その他

見本市準備会から(楠本)

- 現在、見本市を支える恒久的組織の立ち上げを画策している。平成17年度見本市の報告書は出来上がったのか 担当に確認する。

以上

平成 年 月 日

まつど市民活動サポートセンター運営委員会 会長

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信

発行日：2006年7月20日(確定版)

(作成者)半田勝利(運営委員)

平成18年度 第4回 まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時：平成18年7月10日(月)15:00~17:00

場所：まつど市民活動サポートセンター 第2会議室

出席者:(運営委員)金子・楠本・三澤・小菅・半田 (コーディネーター)桑田 (事務局)岩崎・津久井

傍聴者：なし

会議の流れ

議事進行：楠本

議事記録：半田

板書：岩崎

議題1：『まつどに資源提供システムを
考える会』の開催に向けて

議題2：利用者懇談会について

議題3：学生向け情報誌作成事業
について

議題4：その他

議事の概要

議題1：「まつどにサポート資源提供システムを考える会」の開催に向けて
半田委員より、資料により説明。

市民フォーラムの成功に向けて、2段階のステップで臨みます。第1ステップは9月、社協の『ふれあい広場』での呼びかけワークショップの開催。次いで年内目標で第1回市民フォーラムの開催を目指します。

市民フォーラムの目的は、サポート資源提供システムのあり方・あるべき姿を研究し、運営委員会として市長へ提言、政策決定を目指します。

同時に、松戸にサポート資源提供システムを構築するための「まつどサポートシステム研究会」(仮称)が、市民フォーラムの参加者によって立ち上がることです。

運営委員会(運営委員)として、本気で取り組む覚悟が必要です。

- 研究会は市民レベルのものであり、運営委員会とは違う組織である。
- 運営委員会は市民フォーラムを通じて、研究会と協力し合って、構想を纏めていくことになります。
- 市民フォーラム 研究会 運営委員会 市長提言はOK
- 実現可能性が見出せなければ、市民・企業などを集めるわけにはいかない。
- 運営委員会がメインで働く。コーディネータ、ボラ担はサブで協力する。

呼びかけワークショップまでの役割分担は下記の通り。

「広報まつど」での告知は『ふれあい広場』にあわせて行う。

HPでの告知は、企画部会で資料を作成し、広報交流部会で立ち上げる。

行政・大学などへの告知は、ボラ担でチラシを作成する。

NPO・市民団体などのリスト作成は、広報交流部会と事務局が担当する。

社協、商工会議所、青年会議所、有力企業などへのアプローチは企画部会が事務局の協力を得て行う。

議題2：利用者懇談会について

三澤委員より、議事メモにより説明。

開催日時は10月14日(土)14:00~16:00に変更。

議題3：学生向け情報誌作成事業について

三澤委員より前回の再提案として提議があり、協議の結果は確認事項(3)の通り。

- 事後報告になりますが、既に学生の編集委員募集を掛けている。
- レッツ体験集とは別の成果品として作成。
- 若い世代から若い世代に呼びかける。

資料

「まつどにサポート資源提供システムを考える市民フォーラム」の開催に向けて

『サポート資源提供システム』の趣意書

研究フォーラム開催に向けての「アンケート表」

『自分探しの見本市』の報告書

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信

発行日：2006年7月20日(確定版)

(作成者)半田勝利(運営委員)

確認されたこと

- (1) 『広報まつど』(9/1号・予定)に社協の『ふれあい広場』に合わせて「市民フォーラム」に向けてのワークショップ開催を告知すること。
- (2) 「市民フォーラム」の主催はサポートセンターとし、担当は運営委員会で実施すること。
- (3) 学生向け情報誌作成事業は、次年度についてはレッツ体験事業との統合も踏まえて整合性をはかって実施すること。
- (4) 運営委員会での討議について、他のコーディネータも自身の関連議題によっては議論に参加出来るようにすること。
同様、企画部会は『サポート資源提供システム』が主題であり、関心のあるコーディネーターに是非参加をお願いすること。

今後の予定

次回運営委員会

8月9日(水)15:00から開催

場 所

サポートセンター第2会議室

担 当

進行 半田

議事メモ 金子

議事の概要 (続き)

- サポートセンターの若い世代育成のきっかけになる。
- もう少し企画を練ったものにならないと、若者に対し失礼では。
- 将来的には産・官・学協同に向かうものになればなお良い。
- 目的がゴジャゴジャになっている。
- レッツ体験ふりかえり集とは目的が違う。 合わせれば良い。
- 来年、レッツ体験事業の企画を創るときには、整合性をはかって欲しい。

議題4：その他

民営化特別部会の日程については下記の通り。

7月26日(水) 13:30～ 民営化特別部会

15:00～ 企画部会

第3回 NPO・市民活動見本市『自分探しの見本市』の報告書を確認、了承しました。

以 上

平成 年 月 日

まつど市民活動サポートセンター運営委員会 会長

まつど市民活動サポートセンター運営委員会議事メモ（確定版）

発行日：2006年8月18日

（作成者）金子雄二

平成18年度 第5回まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時：平成18年8月9日（水）15:00～17:10

場所：まつど市民活動サポートセンター 第1会議室

出席者：（委員）楠本・小菅・半田・三澤・金子（コーディネーター）山崎（事務局）岩崎

傍聴者：なし

会議の流れ

議事進行：半田 板書：岩崎

議事記録：金子

議題1：「サポート資源提供システム」構築のワークショップの実施要領の検討について

議題2：利用者懇談会の開催案について

議題3：その他

確認された事項

議題1：「サポート資源提供システム」のワークショップの実施要領

1. 実施要領の概略を論議した
2. ワークショップのテーマと進行方法については、企画部会で詳細検討し次回の運営委員会で最終決定する

議題2：利用者懇談会の開催案について

1. 開催日時は、10月14日（土）14:00から
2. 今後のスケジュールは、広報交流部会で総括する

議題3：その他

1. 学生・若者向け情報誌「まつど YOUTH COMMUNITY」の編集会議の報告
2. 「DeBanda 出番だ！ 2006」企画概要（内部向け）の報告
3. 協働提案事業団体からの早期予約申し入れを承認

連絡事項

次回、平成18年度第6回の運営委員会

- ・9月13日（水）午後3時からサポートセンター第1会議室（予定）
- ・議事進行：金子
- ・議事記録：三澤

議事の概要

議題1：「サポート資源提供システム」構築に向けてのワークショップ（実施要領）の検討について[企画部会提案]

- 1) 資料「サポート資源提供システム」構築に向けてのワークショップ（実施要領）について半田委員より説明
 - ・ワークショップの進め方は、一人づつ「質問 答え」の1問1答の形式で行いその時点では意見交換はしない。この方式で全員がテーマに対する自分の考えを出してもらい、出来るだけ多くの意見が集まるように配慮する。
 - ・グループ全員の意見や質問が出揃った段階で、グループ全員で論議する。しかし、限られた時間なので意見を戦わせたり、批判はしない。このワークショップは、次のステップの市民フォーラムに向けての素材集めが目的なので「討議やまとめは市民フォーラム」とする
 - ・市民フォーラムの開催は、年内くらいを想定する
- 2) 半田案の実施要領に行政資源の活用が入っているが、現段階では行政資源は入れない表現とする（文章の訂正は小菅委員が担当する）
- 3) ワークショップのテーマ（目的）に書かれてある「まつどサポートシステム研究会」の表現は「市民フォーラム」に訂正する
- 4) ワークショップのテーマと進行方法については、企画部会で詳細検討する
- 5) ワークショップ参加を呼び掛ける企業アンケートは、サポートセンター名義で郵送する
- 6) ワークショップの開催日は、当初計画通り9月23日（土）とする。

議題2：利用者懇談会の開催案について[広報交流部会提案]

- 1) 資料「利用者懇談会の開催案」について三澤委員より説明
 - ・開催日時は、10月14日（土）14:00から17:00とする
 - ・進行役は、岩崎氏が担当する
 - ・グループワーク総括は、三澤部会長が担当する
 - ・閉会の挨拶は、副会長（楠本委員）が担当する
- 2) 今後のスケジュール（広報交流部会で総括する）
 - ・チラシは8月末までに作成し、9月配布
 - ・ホームページに開催案内の掲載をする（チラシ配布時）
 - ・参加団体への呼び掛けは、9月から実施
 - ・広報まつどへの開催告示は、10月1日号
 - ・開催後の報告は、ホームページ、サポセンニュースで行う

議題3：その他

- 1) 学生・若者向け情報誌「まつど YOUTH COMMUNITY」の編集会議の報告（広報交流部会）
- 2) 「DeBanda 出番だ！ 2006」企画概要（内部向け）の報告（事務局）
- 3) 協働提案事業団体3社（ヒューマンパフォーマンス研究所、カウンセリングルーム WISH、矢切地区社会福祉協議会）からの早期予約申し入れ（事務局経由）を承認（以上）

まつど市民活動サポートセンター運営委員会議事メモ（確定版）

発行日：2006年10月14日

（作成者）三澤和弘

平成18年度 第7回まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時：平成18年10月14日（水）16:00～17:00

場所：まつど市民活動サポートセンター 大会議室

出席者：（委員）楠本・小菅・半田・三澤・金子（コーディネータ）西川（事務局）岩崎

傍聴者：なし

会議の流れ

議事進行：金子 板書：岩崎

議事記録：三澤

議題1：利用者懇談会開催後の作業

議題2：指定管理者制度導入に向けた経過について

議題3：その他

確認された事項

議題1：利用者懇談会ワークショップの意見について三澤が整理し、その後の対応について次回の運営委員会に諮る。

連絡事項

次回、平成18年度第8回の運営委員会

・11月7日（火）午後3時から
サポートセンター第1会議室（予定）

・議事進行：三澤
・議事記録：小菅

次回企画部会は10月23日（月）午後3時から

特記事項

前回、平成18年9月13日に開催を予定した平成18年度第6回の運営委員会は、運営委員の2分の1以上の出席が得られなかったため、運営委員会設置要綱第7条第2項の規定により不成立となりました。

議事の概要

議題1：利用者懇談会開催後の作業について

- ・本日14時から利用者懇談会が開催され、利用者団体から9名の参加があった。
- ・このワークショップでの意見は三澤がまとめ、その対応について次回運営委員会に諮る。
- ・最終報告は、コーディネータと調整の上、ホームページ、サポセンニュースで掲示する予定

議題2：指定管理者制度導入に向けた経過について

* 指定管理者制度導入に向けた経過について小菅委員より報告

1) 日程

- ・10月1日広報で募集掲載
- ・10月11日説明会。8団体参加
- ・11月2日までに書類提出し、11月下旬選考終了
- ・12月議会にかけ、年内指定管理者を決定する
- ・翌1月から3月は引き継ぎ期間。

2) 選考においてのポイント

- ・サポートセンター基本構想を反映すること
- ・資源提供システムについての対応を問う
- ・コーディネータは経験1年以上または同等のレベル
- ・ホームページの更新能力を持つこと
- ・防火管理者を擁すること

3) 評価体制

- ・選考委員と同じ体制となる
- ・自己評価について第三者との関わりは指定管理者の提案

4) 引継ぎなど

- ・継続性を重視し、Let's体験、NPO見本市、利用者懇談会等サポートセンター従来のメインイベントは残す。
- ・指定管理者が決定すれば、現在の市の臨時職員であるコーディネータは3月31日までとなる。

議題3：その他、事務局からの報告

* 西川コーディネータより報告

- ・NPO見本市は3月3日に決定
- ・NPO見本市説明会は11月21日 14時～と18時～の2回
- ・学生・若者向け情報誌「まつど YOUTH COMMUNITY」の担当コーディネータは小山、西川。NPO見本市でブースを設け、情報誌を配る予定。

（以上）

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信

発行日：2006年11月7日

(作成者) 楠本敏子 (運営委員)

平成18年度 第8回 まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時：平成18年11月7日(水) 15:00~17:00

場所：まつど市民活動サポートセンター 第2会議室

出席者:(運営委員) 金子・半田・三沢・楠本 (コーディネーター) 木村 (事務局) 岩崎

(オブザーバー):(青年会議所) 高松

傍聴者：なし

会議の流れ

議事進行：三澤

議事記録：楠本

板書：木村

議題1：指定管理者制度導入の経過報告

議題2：ワークショップ「サポート資源提供システムを考える」ふりかえりの会について

*青年会議所の高松氏が上記システム構築の論議に参加

議題3：その他

議事の概要

議題1：指定管理者制度導入の経過報告(岩崎)

- 説明会参加8団体のうち3団体が応募
- 12月議会に上程

議題2：ワークショップ「サポート資源提供システムを考える」ふりかえりの会について

- 日時は11/9 15~18時
- 資料「ワークショップの反省と市民フォーラムに向けて」の説明(半田)
- 市民フォーラムの核は「サポート資源提供システム」。仙台みやぎ等をモデルに
- 資源提供による市民活動隆盛が、まちを活性化する
- 準備会の立ち上げについて、青年会議所・サポートセンター運営委員会等で取り組みたい

- 個々の構想をネットワーキングで発展させる
- 行政が納得する形としてはテーマが必要。
《例》子育て支援 柏の葉駅前託児所送迎サービス(地理的条件クリアで保護者のウェイティング・託児所の格差が解消)行政が大きく係わる

- 松戸は難しい。民・民で
- 市民がしっかりとシステムを構築すれば行政は巻き込まれていく。行政参加をテーマのひとつに据える

- 行政参画がシステム構築活動をスムーズにする
- 市民活動団体は支援を待っている
- 支援に値する団体は厳格に選別されるべき
- マッチングできる要素を考え企業も巻き込む
- 「Win Win」型テーマが必要
- 産官学を取り込む
- 双方向発信の情報ネットワークでつなぐ
- 便利な場所にフォーラムの基礎となる、人が集まる仕掛けを作る
- ふりかえりの会

ブレインストーミングのような自由なディスカッション形式

《役割》総合司会：小山(コーディネーター)

挨拶：金子(会長)

行政挨拶：岩崎

資料説明：半田(企画部長)

まとめ：小山 または 金子

議題3：その他 利用者懇談会のまとめ資料について(三澤)

- 資料 を整理し、HP とサポセンニュースに掲載

資料

ワークショップの反省と市民フォーラムに向けて
サポートセンターに望むこと
「今とこれから」

確認されたこと

議題1

- ・指定管理者応募3団体は審査後、指定議案を12月議会に上程予定。

議題2

- ・ワークショップ「サポート資源提供システムを考える」ふりかえりの会は11/9 15~18時。
- ・市民フォーラム準備会立ち上げに青年会議所・サポートセンター運営委員会等で取り組みたい
- ・ネットワーキング、マッチング、協働等について考える

以上

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信

発行日：2006年11月7日

(作成者) 楠本敏子 (運営委員)

確認されたこと

・便利な場所にフォーラムの基礎となる、人が集まる仕掛けを作る

議題3

・利用者懇談会のまとめをHPとサポセンニュースに掲載

以上

今後の予定

次回運営委員会 12月13日(水) 15:00 から開催

場所 サポートセンター第2会議室

担当 進行：楠本 議事メモ：小菅

平成 年 月 日

まつど市民活動サポートセンター運営委員会 会長

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信 (暫定)

発行日：2006年12月15日

(作成者) 津久井隆信 (事務局)

平成18年度 第9回 まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時：平成18年12月13日(水) 15:00~17:00

場所：まつど市民活動サポートセンター 第1会議室

出席者：(運営委員) 金子・半田・三沢・楠本 (コーディネーター) 小山・芦沢 (事務局) 岩崎・津久井

傍聴者：なし

会議の流れ

議事進行：楠本

議事記録：小菅 (代理 津久井)

板書：津久井

議題1：市民フォーラム「サポート資源提供システムを考える」について

議題2：その他

- ・先行予約について
- ・指定管理者制度導入の経過報告

議事の概要

議題1：市民フォーラム「サポート資源提供システムを考える」について

- フォーラムについての主催、現段階、メリットの確認
- 主催としては、サポートセンター運営委員会が担う。
- チラシに明記する。
- 準備会へ向けての最終段階のフォーラム(企画部会での企画書のとおり)
- システム図の「行政」の文字は、システムの外側で、地域にあるその一つである。外すことの方が不自然である。
- フォーラムに向け、コーディネーターを含め全体での意思統一確認の意味で打ち合わせ行う。(12月25日午後3時から5時)
- フォーラムの通知については、企画部会で決定したとおり、FAX、Eメールとする。
- 青年会議所へは、持参する。(サティ・三井生命・マブチ・ライオンズは)
- フォーラム、2部制で。
- 1部は、講演+パネルディスカッション(1時間程度)
- 事例発表者(プラスチックの再生関係)(小山コーディネーター交渉)
- 決定しだい、チラシにも、記載する。
- 継続してパネルディスカッションを、金子委員とJCに加わってもらう形で行う。
- 2部は、テーマ(課題)を、「推進母体の形態(担い手)」「行政と市民活動団体の協働のあり方」「システムの具体案」の3つに分けて行う。
- 議題2：その他
- ① 早期予約について
- 「つながり楽集会・ちば」から来年7月6・7・8日の申し入れ。今年で3回目である。内容は、研修企画書のとおり。
- 早期予約を承認する。
- 来年度の予約だが、問題ないのか。(指定管理者へは、引継ぎを行う。)
- ② 指定管理者制度導入の経過報告(岩崎)
- 以前にも説明したとおり、説明会参加8団体のうち3団体が応募。
- 12月議会に上程中。議決を得て指定することに。
- ③ その他
- パートナーシップ条例については、松戸市協働のまちづくり条例(案)として12月15日から1か月間パブリックコメントを実施する。

以上

資料

- ① 市民フォーラムチラシ案ほか
- ② 研修企画書(先行予約)

確認されたこと

議題1

- ・全体打合せを12/25PM3時から。
- ・通知は、FAXとメールを基本、青年会議所へは、持参する。
- ・事例発表を入れ、2部制で話を詰めていく。

議題2

- ・「つながり楽集会・ちば」の早期予約を承認。

今後の予定

次回運営委員会 1月17日(水) 15:00から開催

場所 サポートセンター第1会議室

担当 進行：小菅 議事メモ：金子

(企画部会は、1/12の3時から)

平成 年 月 日

まつど市民活動サポートセンター運営委員会 会長

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信

発行日：2007年1月17日

(作成者) 楠本敏子 (運営委員)

平成18年度 第10回 まつど市民活動サポートセンター運営委員会
 日時：平成19年1月17日(水) 15:00~17:00
 場所：まつど市民活動サポートセンター 第2会議室
 出席者：(運営委員) 金子・半田・三沢・楠本 (コーディネーター) 小山・山崎・中村 (事務局) 岩崎・津久井
 傍聴者：なし

会議の流れ

議事進行：金子
 議事記録：楠本
 板書：津久井
議題1：市民フォーラム「松戸版サポート資源提供システム構想」について
議題2：その他
 指定管理者制度導入の経過報告

資料

① 「サポート資源提供システム・ワークショップ・プログラム」

確認されたこと I

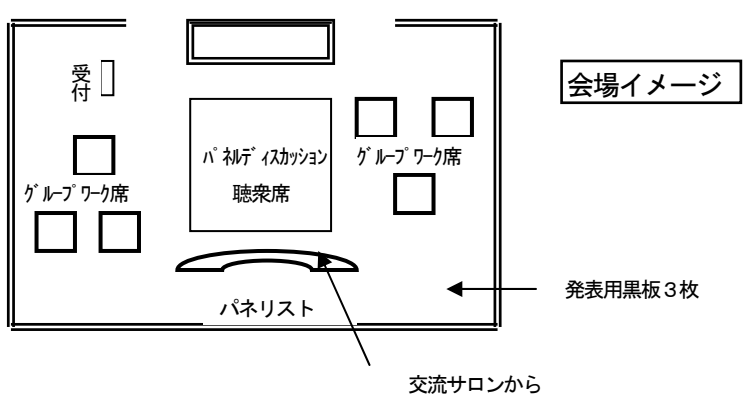
議題1
 ・フォーラムのプログラム等、詳細を確認
議題2
 ・NPO法人COCOTに指定通知(12/28)
 ・今後、年度協定書を交わす
 ・新年度より指定管理になる旨の告示(掲示)に付き、ボランティア担当室で検討

以上

議事の概要

議題1：市民フォーラム「松戸版サポート資源提供システム構想」について

- プログラムの確認
- ・場所 大会議室を多目的ホールに変更
- ・設営 12:30~
- ・小林氏との打合せ 13:00~ (高田氏同席)
- ・受付 13:30~
- ・パネリスト 小林氏、金子委員、高田氏(異業種会)、地守氏(ゆいねっと)
- ・開会 挨拶-小菅 目的等-金子 講師紹介-三澤(全体司会)
- ・グループワーク 6テーブル(最少3人で1テーブル構成)。現在申込み10名程
- ・アイスブレイク 自己紹介と同時にシステム名称考える(10分 2分×5名)
- ・話す テーマについてディスカッション(25分 5分×5名)
- ・書く 自分の意見、触発された内容を文でポストイットに(10分)
- ・聴く ポストイットを出していく(15分)
- ・整理 論理でなく感覚で(15分)
- ・発表 グループ発表および意見交換(18分+10分)
- ・提案 運営委員会より(半田委員)
- ・閉会 17時 小菅(ボランティア担当室長)
- 小林氏のプロフィールを事前に頂く(連絡/小山Co)
- 名称を各テーブルのファシリテータがメモする。余裕があればグループワーク後にも考える。受付に箱を用意する。
- 準備
 - ・多目的ホールの3テーブル+ランニングトラックの9テーブル
 - ・表示紙 パネリスト、基調講演タイトル等。プログラム拡大で対応
 - ・ポストイット(2種)、模造紙(発表用)、記名簿(システム準備会用)



会場イメージ

- 資料 チラシ 繰り返りの会のまとめ 各テーブル用は特になし(Fa裁量で)
- 参加呼びかけ 運営委員担当(レッツ体験や見本市のNPO、前回参加者)

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信

発行日：2007年1月17日

(作成者) 楠本敏子 (運営委員)

今後の予定

次回運営委員会

2月14日(水) 15:00から

場所

サポートセンター第2会議室

担当

進行：小菅 議事メモ：金子

次回企画部会

1月25日(木)

議題2：その他 指定管理者制度導入の経過報告(岩崎)

- 12/28付けでNPO法人COCOTに指定通知
- 今後、年度協定書を交わす
- 新年度より指定管理になる旨の告示(掲示)は、ボランティア担当室の要検討事項

以上

平成 年 月 日

まつど市民活動サポートセンター運営委員会 会長

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信

発行日：2007年2月14日

(作成者) 金子雄二 (運営委員)

平成18年度 第11回 まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時：平成19年2月14日(水) 15:00~17:00

場所：まつど市民活動サポートセンター 第2会議室

出席者：(運営委員) 三澤・楠本・小菅・金子 (コーディネーター) 山崎 (事務局) 津久井

傍聴者：1名

会議の流れ

議事進行：小菅

議事記録：金子

板書：津久井

議題1：「松戸版サポート資源提供システム構想」について

議題2：その他

利用者集計(アンケート)報告・確認

確認されたこと

議題1

- ・構想発表会までのスケジュールと構想案作成日程
- ・構想文案は、2月24日までに作成して各委員にメールにて確認する
- ・ちらし案の訂正を検討する(楠本委員)

議題2

- ・NPO 見本市の開会式プログラムの再確認(三澤委員)
- ・「協働事業必勝講座」の出席

今後の予定

次回運営委員会(臨時)

2月26日(月) 15:00から

場所

サポートセンター第2会議室

担当

進行：三澤

議事メモ：小菅

議事の概要

議題1：「松戸版サポート資源提供システム構想」について

- スケジュールの確認(2月7日開催の企画部会資料を参照)
- ・2月24日までに各執筆分担者が素案を作成し、各委員に事前メールする
- ・2月26日(月)、臨時運営委員会(構想案の検討)
- ・(3月1日、市広報に構想案発表会の告知)
- ・3月6日(火)、企画部会(発表会開催プログラムの検討・決定)
- ・3月10日(土)、構想案発表会及びまつど版システムを創る「準備会」発足
- ・3月14日(水)、企画部会(構想案の最終検討)
- ・3月20日(火)、運営委員会(構想案の最終決定)
- ・3月20日以降、市長に提言書を提出
- 構想案の構成
- ・(表題)「まつど版サポート資源提供システム」実現に向けての提言
- ・(サブタイトル)市民活動サポートセンターの民営化後のあり方について
 1. 「まつど版サポート資源提供システム」の提言
 - ・「まつど版サポート資源提供システム」が目指すもの
 - ・サポートセンターが民営化後に求められるもの
 2. 「まつど版サポート資源提供システム」とは
 3. まとめ(すすめ方)
 - ・サポートセンター運営委員会解散後は、運営委員有志と市内企業及び市民団体と連携して「まつど版サポート資源提供システム」の実現を目指しその事務局機能を担う
 - ・ボランティア担当室と指定管理者の「まつど版サポート資源提供システム」の共同研究に参画する

議題2：その他

- NPO 見本市の開会式で、指定管理者と運営委員会の挨拶を入れることを実行委員会に再確認する(三澤委員)
- 利用者集計(アンケート)で提起された問題(昨年11月開催の利用者懇談会以降)を確認した
- 2月23日開催の「協働事業必勝講座」の出席を要請

(以上)

平成 年 月 日

まつど市民活動サポートセンター運営委員会 会長

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信

発行日：2007年3月2日

(作成者) 山崎恵 (コーディネーター)

平成18年度 第12回 まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時：平成19年2月26日(月) 15:00~17:00

場所：まつど市民活動サポートセンター ミーティングコーナー

出席者：(運営委員) 三澤・楠本・半田・金子 (コーディネーター) 山崎 (事務局)

傍聴者：なし

会議の流れ

議事進行：三澤

議事記録：山崎

板書：なし

議題1：「松戸版サポート資源提供システム構想」について

議題2：その他

早期予約について

確認されたこと

議題1

- ・構想案の内容検討
- ・構想文を改訂したものは、3月2日までに半田委員以下全委員にメールする

議題2

- ・NPO 見本市の開会式セレモニーを実行委員会に提案
- ・「社団法人 日本3B体操協会」の早期予約が承認
- ・

今後の予定

次回運営委員会

3月20日(火) 15:00から

場所

サポートセンター第1会議室

担当

進行：半田

議事メモ：三澤

議事の概要

議題1：「松戸版サポート資源提供システム構想」について

- 各執筆担当案の検討
 - ・1-2 (三澤案)、最後の図式を変更し「めでるくんネットワーク」に最終的につながるようにする。サポートセンター重点事業を、指定管理者への仕様書の事業を参考にして直す。
 - ・3章 (金子案)、3. 4は、本構想を進めるにあたって、松戸市に協働のしくみづくりがかかせないことに触れる内容とする。
 - ・1章の中の「「まつど版サポート資源提供システム」が目指す原点とは」の執筆を楠本委員に依頼する。
 - ・「はじめに」は、提言書の文章構成を簡素化するために入れない。
- スケジュールの確認
 - ・3月2日までに各執筆分担者が、今日の内容を踏まえ改訂し、半田委員にメールする。メールは、運営委員全員宛にする。
 - ・3月6日の企画部会までに半田委員が全体をまとめる。
- フォーラム広報ちらし
 - ・「めでるくんネットワーク」を四角の中から出す。裏にめでるくんネットワークのイメージ図は必須。事務局が印刷する。

議題2：その他

- NPO 見本市の開会式で指定管理者と運営委員会の挨拶を行う件について、28日の実行委員会の場で、金子委員と三澤委員が提案し、最終的な承認を得ることになった。
- 「社団法人 日本3B体操協会」の早期予約が承認された。
- 2月25日に行われた『「松戸市協働のまちづくり条例(案)」を考えるタウンミーティング』に半田委員が出席し、内容について報告があった。

(以上)

平成 年 月 日

まつど市民活動サポートセンター運営委員会 会長

まつど市民活動サポートセンター運営委員会通信

発行日：2007年3月20日

(作成者) 三澤和弘 (運営委員)

平成18年度 第13回 まつど市民活動サポートセンター運営委員会

日時：平成19年3月20日(水) 15:00~17:00

場所：まつど市民活動サポートセンター 第2会議室

出席者：(運営委員) 金子・半田・楠本・小菅・三澤 (事務局) 岩崎

傍聴者：1名

会議の流れ

議事進行：半田

議事記録：三澤

板書：岩崎

議題1：「松戸版サポート資源提供システム」実現に向けた提言について

議題2：その他

確認されたこと

議題1：

- ・市長提言：市民サロン 3月28日 13時45分市民サロン 集合

議題2

- ・「創る会」立上げに当たって指定管理者との協議をする。
- ・運営委員会の解散会は4月4日(水)

今後の予定

市長提言 (最終運営委員会)

3月28日(水) 14:00から

場所

松戸市役所市民サロン

議事の概要

議題1：「松戸版サポート資源提供システム」実現に向けた提言について

- 提言書最終版の確認と討議
 - ・提言書のなかでの事務局は最終形で、「創る会」そのものではない。
 - ・ファンドの実現に当たっては、公的ファンドと市民ファンドの棲み分けが必要
- 市長への提言書の渡しは、3月28日(水) 14時から15時
- 運営委員は13時45分 市民サロンにて集合
 - ・司会：津久井
 - 1. 趣旨説明(金子)と提言書提出
 - 2. 市長返礼
 - 3. 懇談
 - 4. 部長：閉会挨拶
- 運営委員会の解散は委員会設置要綱の廃止をもって委員会の解散とする。
- 3月28日「松戸版サポート資源提供システム」の市長提言をもって、運営委員会の最終回とする。

議題2：その他

- 「創る会」立上げの挨拶文について
 - ・企業、NPO等のお知らせは、市長提言の後とする。
- 「創る会」と指定管理者との協議
 - ・19年度の協働研究及び事務所、ロゴの使用などについての協議を早急に開催する。
- 4月4日(水) 運営委員会の解散会をする。

(以上)

平成 年 月 日

まつど市民活動サポートセンター運営委員会 会長